

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
国際観光専門学校 浜松校		昭和61年2月17日		山本 繁夫		〒430-0942 静岡県浜松市中区元浜町34-15 (電話) 053-475-2380		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人高村育英会		平成17年11月30日		理事長 高村 慎一		〒111-0052 東京都台東区柳橋2-20-14 (電話) 03-3866-0811		
目的	ホテル業・ブライダル業の企業が求める専門知識・技術の習得とマナーを重視した教育を行うことを目的とする。							
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程		ホテル・ブライダル科		平成6年文部科学省告示第84号	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間		1830	1365	1215	単位時間		
生徒総定員		生徒実員		専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人		73人		5人	18人	23人		
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各学期末に行う定期試験結果、出席状況、授業態度を統合して評価			
長期休み	■学年始4月上旬 ■夏季:7月下旬～8月末 ■冬季:12月下旬～1月上旬 ■学年末:2月下旬～4月上旬			卒業・進級条件	成績評価の基準に基づき、修業年限・時間数のクリアをした者			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 電話・保護者対応・訪問等で対応			課外活動	■課外活動の種類 ■サークル活動: 無			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 ホテル業、ブライダル業 ■就職率 <sup>※1</sup> : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 90% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成28年5月1日時点の情報)			主な資格・検定等	レストランサービス技能検定、アシスタント・ブライダル・コーディネーター検定、色彩検定、秘書検定、サービス接遇検定、パーソナルカリスト検定、ホテルビジネス実務検定、TOEIC 他			
中途退学の現状	■中途退学者 2名 平成27年4月1日時点において 在学者 63名 平成28年3月31日時点において 在学者 61名 ■中途退学の主な理由 進路変更(進学・就職) ■中退防止のための取組 入学前のイベント時に職種意識付け。入学後の早期学生面談で問題や課題を把握。							
ホームページ	<a href="http://www.ict-hamamatsu.jp/ict">http://www.ict-hamamatsu.jp/ict</a>							

1. 「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1) 教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

- 企業で実施をしている現場の接客術等、社員教育の一部をカリキュラムに採用し、即戦力となる人材育成に寄与する。
- 求める人物像と教育方針のミスマッチを未然に防ぐために企業へニーズのヒアリングを行い、授業内容に反映させる。

(2) 教育課程編成委員会等の位置付け

- 企業との連携を今まで以上に保ち、質の向上・維持を図るための一助とする。
- 教育課程編成委員会での意見を参考とし、学内協議を実施した上でカリキュラムの作成に活かす。
- 組織上は各部の基礎部門とし編成委員会規程にのっとり運用する。

(3) 教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
荘司 哲	奥浜名湖観光協会	～平成29年3月31日	①
市川 正良	オークラアクトシティホテル浜松	～平成29年3月31日	③
山本 繁夫	国際観光専門学校浜松校 校長		
久野 祐介	国際観光専門学校浜松校 学生課		
相田 知香	国際観光専門学校浜松校 教務課		
浦部 愛子	国際観光専門学校浜松校 広報課		
浅田 智美	国際観光専門学校浜松校 総務課		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4) 教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

○6ヶ月に1回、前期と後期に年間2回の教育編成委員会を実施。

（開催日時）

- 第1回 平成26年8月26日 15:00～17:00
- 第2回 平成27年2月17日 14:00～17:00
- 第3回 平成27年8月25日 15:00～17:00
- 第4回 平成28年2月16日 15:00～17:00
- 第5回 平成28年8月30日 15:00～17:00

(5) 教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

○接客業という人の温かさが大切な職種である中、人に物事を適切に伝えることは何よりも大事であり必須。8月26日の教育課程編成委員会での意見「発表の場を数多く与える必要性」との意見があり、スピーチの授業にて早速1月30日に公的会場を使用し実施し意見の反映を行った。

○2月17日の教育課程編成委員会での意見「授業において専門性の学習だけでなく現場で起こりうる状況を理解させ、募集側と受験側のミスマッチを避けることが大切」という意見があり、ブライダルプロデュース・ホテル概論にてそれを踏まえた授業展開を実施。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

- 企業に囑望される人材として必要な豊かな人間性や人格の向上に重点を置いたマナー教育。
- 企業で最低限、求められる専門知識・技術レベルの習得。
- コミュニケーション・行動・意欲を柱に意識改革を行い、接客業に不可欠な社会人基礎力の習得。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

- 実際の現場で接客業務を行いながら、業界事情やスキルを学ぶ。
- 実習や講義の場において現場での勤務者に実際に経験した内容や起こりえるパターンを含めて指導を受ける。
- 実習後、現場責任者より考課表に記載いただき、指導材料として教育育成を行う。

(3) 具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
国内ホテル実習	生の現場体験を通してホテルの人材ニーズを身につける（挨拶、お辞儀、料理運び、片付け等）	株式会社オークラアクトシティホテル浜松 他

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

○職業教育研修協定書及び教職員研修規程に則り、実務・指導の研修を実施することにより、自らの知識と技術の向上を図り、教育水準を高め、時代の要請に沿った指導を実践できる教職員の育成を図り、学生対応に活かしていく。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

○ウェディングプランナーの結婚式に対する想いやお客様の気持ちを形にする「GOOD WEDDING AWARD」でブライダルの深化とプレゼンテーションの大切さを再認識でき、業界で求めるモノへの理解向上を果たせた。またホテル分野でもホテルのインターンシップのあり方や企業ニーズの最先端など、企業連携により得られた知識を活用し指導力向上に務めていくことができた。

② 指導力の修得・向上のための研修等

○授業展開における社会人基礎力の組み込み方「社会人基礎力向上」や所属する県キャリア教育振興会の教員認定研修及び、「生徒との関わり方」をテーマにした研修など、指導における幅広い知識を身につけ、学生対応における実践力の向上に資した。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

○毎年参加しているGOOD WEDDING AWARDでは今年度もブライダル業界の求める人材や必要な知識など、最先端の情報収集ができた。以降もホテルやブライダルの現場における最新のニーズを指導に役立てるべく、様々な研修を行ってスキルを身につけていく。

② 指導力の修得・向上のための研修等

○所属する県キャリア教育振興会の教員認定研修や選挙改正法などに参加させ指導力向上に資した。また今後もメンタル面における教育、及びコミュニケーション力の向上等の校内外の研修を年間複数回参加し、学生の教育指導や就職指導に即時反映できるスキルを身につける。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

○社会貢献、企業連携をより強固なものとし、様々な視点からの意見やアンケートを運営に反映させ、充実した学校教育を行う。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	人間教育、実践教育、国際人教育を柱とした人材育成
(2) 学校運営	事業計画を軸とした学校運営
(3) 教育活動	教育理念を主とし各委員会での判断を踏まえた活動
(4) 学修成果	ミスマッチや学習意欲低下を防ぎ就職目標の達成
(5) 学生支援	心身面での体調管理支援体制
(6) 教育環境	施設・設備の見直し、点検、検証
(7) 学生の受入れ募集	計画的な募集活動と定員充足
(8) 財務	適切な予算・収支計画における施行
(9) 法令等の遵守	専修学校設置基準による適正な運営
(10) 社会貢献・地域貢献	ボランティア活動、公開講座、教育訓練の実施
(11) 国際交流	計画的な留学生募集と交流協会との連携

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

○学修成果の項目にて卒業生への情報発信や情報収集ができるシステムの構築ができればより良いという指摘事項に対して、ホームページの全面改正を行い、情報発信のできやすいページ作り。また社会貢献・地域貢献の低評価項目においての意見を反映させるため、課外活動は担当者を任命しボランティア活動日時の提供を行い積極的な参加を勧めるようにしている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成28年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
市川 正良	オークラアクティビティホテル浜松 管理部次長	～平成29年3月31日	企業等委員
荘司 哲	奥浜名湖観光協会 事務局長	～平成29年3月31日	企業等委員
大橋 清人	浜松ホテル旅館協同組合 事務局長	～平成29年3月31日	企業等委員
浜林 彰	中部日本広告社 浜松支社長	～平成29年3月31日	企業等委員
馬淵 さゆり	卒業生保護者	～平成29年3月31日	卒業生保護者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ) ( )

URL:[http://www.ict-hamamatsu.jp/ict/zwp/wp-content/uploads/jikotenken\\_k.pdf](http://www.ict-hamamatsu.jp/ict/zwp/wp-content/uploads/jikotenken_k.pdf)

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

○関係者より評価をいただいた意見をホームページ、学校掲示、委員会での報告を行う。又、定期的に企業へ訪問し、学校運営に資する為に全ての情報を提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念、歴史、定員
(2)各学科等の教育	カリキュラム、取得資格、就職状況
(3)教職員	教育項目、キャリア
(4)キャリア教育・実践的職業教育	職業理解教育と企業連携状況
(5)様々な教育活動・教育環境	企業見学、多学科生との交流機会の提供、実習設備
(6)学生の生活支援	アパート紹介、生活相談
(7)学生納付金・修学支援	特別奨学生、資格特待生
(8)学校の財務	財務諸表(資金収支、消費収支、賃借対照表)
(9)学校評価	自己点検・自己評価、学校関係者評価の報告
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL:<http://www.ict-hamamatsu.jp/ict/>

授業科目等の概要

#REF!			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			専門科目	レストランサービス実習	2 1 通 通	120	8			○	○			○		
○				スピーチ技法	1 通	60	4			○	○				○	
○				ビジネスマナー	2 通	60	4			○	○				○	
○				ブライダル実務	2 1 前 通	90	6			○	○			○	○	
○				A B C検定	2 後	30	2	○			○				○	
○				ブライダルプロデュース	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
○				ホテル概論	1 通	60	4	○			○				○	
○				英会話	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
○				カラーコーディネート	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
○				サービス接遇検定	1 通	60	4			○	○				○	
○				心理学	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
○				スピーチ	2 通	60	4			○	○	△			○	
○				国内ホテル実習	1 前	120	8			○	△	○			○	○
○				HRS検定ゼミ	2 前	15	1	○			○				○	
○				ブライダル卒業制作	2 後	15	1			○	○	△			○	
				日本語	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
	○			TOEIC	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
				中国語	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
				フラワーテーブルコーディネート実習	2 1 通 通	120	8			○	○				○	
		○		ビバレッジ	2 1 隔 通	90	6			○	○				○	
				コスチュームヘアメイク実習	2 1 通 通	120	8			○	○				○	
		○		着付け	2 通	60	4			○	○	△			○	
		○		手話/一般常識	2 通	60	4	○			○				○	
		○		色彩検定	2 1 通 通	120	8	○			○				○	
		○		パーソナルカラー	2 通	60	4			○	○				○	
		○		ネイル実習	2 前	30	2			○	○				○	
○				一般科目	職業指導	1 後	30	2	○			○			○	
○					介助	2 後	30	2			○		○			○
○			自己分析・職業紹介		1 通	60	4	○			○				○	
○			パソコン実習		2 1 通 通	120	8			○					○	
○			印象管理		2 通	60	4	○			○				○	
○			一般常識		2 1 前 通	90	6	○			○				○	
合計				32科目	2580単位時間( 172単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必須及び選択必須の履修・習得	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。